



# 小高区の課題解決に向けた協議について

【令和7年4月17日開催資料】



# 令和6年度からの協議について

|   | 開催月                | 内容／予定                                          |
|---|--------------------|------------------------------------------------|
| 0 | 6月臨時会議<br>(6/25開催) | 概要説明【実施済】                                      |
| 1 | 7月会議<br>(7/18開催)   | 小高区の「ちょっと困ったところ」「よいところ」を自己紹介形式で情報交換しましょう！【実施済】 |
| 2 | 8月会議<br>(8/20開催)   | 小高区の課題についてグループごとに協議しましょう！【実施済】                 |
| 3 | 10月会議<br>(10/23開催) | 旧小高商業高校内見学【実施済】                                |
| 4 | 1月会議<br>(1/23開催)   | 事業案を考えるため、グループごとに内容のふり返りをしましょう！【実施済】           |
| 5 | 視察研修<br>(1/23開催)   | 視察研修(一般社団法人 葛尾まちづくり公社)【実施済】                    |
| 6 | 2月会議<br>(2/19開催)   | 事業案をグループ内で共有し、協議しましょう！【実施済】                    |
| 7 | 4月会議<br>(4/17開催)   | 事業内容の発表【本日実施】                                  |



# 前回協議の振り返り

## STEP4 事業案をグループ内で共有し、協議しましょう！

- ① 委員の皆様に記入していただいた「事業案シート」の内容を、グループ内で共有していただき、その内容について意見交換をしていただきました。
- ② 意見交換の場でグループメンバーから出された意見についても協議し、意見交換を行い、新たな事業案として検討を行いました。





# 本日の協議内容

## STEP5-1 事業案の発表

前回の協議までにご提出いただいた事業案について、事業を出した方または事業案を出したグループから発表していただきます。

### ① 小高区にある資源・特色を生かした事業になっていますか。

⇒何もないところから問題解決の方法を考えるのではなく、小高区のよいところを資源としてとらえ、それらを生かす事業を検討しましょう。

### ② 将来的に自走可能な事業ですか。

⇒事業実施にあたっては、自治振興基金を活用する事業も出てくるかと思います。限りある財源のため、将来的には自走可能な事業となることが理想です。

### ③ 「どういう状態がゴール(事業完了)か」をイメージできますか。

⇒事業を実施することで、最終的に課題が解決すること、または事業が自走できるようになることがゴールです。最終到達点を明確にして、事業を考えましょう。



## ▶ 事業名 小高区草刈り隊

志賀由紀夫 委員 提案

### ターゲット

- ▶ 自治体や各種団体
- ▶ 一般個人からの受託

### 必要な人材・組織

#### 【人 材】

- ▶ 復興組合解散に伴う作業員の受け皿
- ▶ その他作業員公募による人材
- ▶ 地域の高齢者の方に管理・清掃を依頼することで、地域とのかかわりしろを作る

#### 【組 織】

- ▶ できればまちづくり会社の事業部として組織化
- ▶ 受注部門を別途設置し、作業場所・人員割り振りなど担当





## ▶事業名 小高区草刈り隊

### 事業内容

- ▶ 依頼による空き家・空き地、一般住宅及び公園等の草刈り、その他委託地域の草刈り
- ▶ 耕作放棄地の草刈り
- ▶ 草刈り事業者が手を出さない地域の草刈り

### 最終的なゴールの状態は？

- ▶ 景観維持、住みやすい環境の維持
- ▶ できれば...自ら空き地のガーデンニング化し、依頼により植栽の管理を受け持つ





## ▶ 事業名 (仮称) 小高区 みんなで運動会

阿部 貞康 会長 提案

### ターゲット(誰を対象に行う事業ですか?)

- ▶ 小高区全住民(小高小学校、小高中学校、おだか認定こども園、参加を希望する大人)

### 必要な人材・組織(誰が実施する事業ですか?)

- ▶ 小高区行政区長連合会、小高小学校、小高中学校、おだか認定こども園、老人会、小高区役所などの関係機関団体)

### 事業内容

- ▶ い つ : 小高小学校の運動会に合わせて(あるいは別に日程を設けて)
- ▶ どこで : 小高小学校校庭、体育館、NIKOパーク、中部運動場
- ▶ 誰 が : 小学生を中心に、地域全体で実行委員会を組織して実施
- ▶ 何 を : こどもも大人も、気軽にできるゲーム感覚の種目
- ▶ どのように: 小学校 ⇒ 赤組・白組の対抗 / 地 域 ⇒ 方部対抗(中部・西部・東部)

(競技例: 玉入れ、パン取り競争、輪投げ など) ※種目については要検討





## ▶ 事業名 (仮称) 小高区 みんなで運動会

**最終的なゴールの状態は？** (どのような状態になれば事業完了ですか？)

- ・住民全員が、こども達の成長を実感し、見守ることの大切さを再認識できること。
- ・行政区や方部の枠を取り払い、地域の現状を認識できること。
- ・事業を通して、地域の交流が深まり、今後の暮らしに楽しみができること。
- ・毎年実施することにより、さらに地域のつながりが深まり、みんなが元気になること。





## ▶ 事業名 小高の食文化を伝える交流会

Cグループ提案

**ターゲット** (誰を対象に行う事業ですか?)

- ▶ 小高区のこども達、移住してきた若者

**必要な人材・組織** (誰が実施する事業ですか?)

- ▶ 商工会女性部、小高区のお母さんたち

### 事業内容

#### ▶ 小高のお母さんの料理教室

小高区に昔から伝わる料理や、家庭でよく食べられてきた料理を習う料理教室を開催。料理教室のあとには、作った料理を囲んで交流会を行う。

#### ▶ 小高のお母さんの料理レシピの制作

小高のお母さんたちの家庭料理をレシピにまとめ、小高交流センター・浮舟文化会館・小高区役所等で配布する

**最終的なゴールの状態は?** (どのような状態になれば事業完了ですか?)

- ▶ 料理の継承を通して、多世代の交流の場が形成される。
- ▶ 小高区(南相馬市や浜通り)に伝わる料理を、若い世代に継承される。

### 参考事例等

- ▶ うちの郷土料理: [https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k\\_ryouri/index.html](https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/k_ryouri/index.html)



## ▶ 事業名 小高区の文化・芸能の継承

Cグループ提案

**ターゲット** (誰を対象に行う事業ですか?)

- ▶ 小高区のこども達、移住してきた若者

**必要な人材・組織** (誰が実施する事業ですか?)

- ▶ 各行政区の青年団、踊り・神楽等の保存会
- ▶ 各行政区の区長・役員等

### 事業内容

#### ▶ 相馬流山踊りの継承

相馬野馬追の際に踊られている相馬流山について、小高中学校の生徒に指導を行っているが、小高区の住民にも参加者を募集し、継承者の育成はもとより、指導者の育成も行っていく。

#### ▶ 各行政区に伝わる行事・踊り・神楽等を、行政区を問わず若い世代へ継承する

行政区で継承してきた文化・芸能を、方部や小高区全体など範囲を広げて、小高区内にある文化が途絶えないよう、継承者を小高区全体に募集する。

#### ▶ 小高区全体の伝統行事カレンダーの制作

各行政区で開催していたお祭りや行事を盛り込んだカレンダーを制作する

**最終的なゴールの状態は?** (どのような状態になれば事業完了ですか?)

- ▶ 文化・芸能の継承を通して、多世代交流の機会が生まれる、それが継続的に行われる体制ができる
- ▶ 小高区の伝統・文化が小高区民に認知される



## ▶ 事業名 小高区定額タクシー「みなタク」

西山 喜代子委員 提案

**ターゲット** (誰を対象に行う事業ですか？)

- ▶ 高齢者、免許返納した人、障がい者

**必要な人材・組織** (誰が実施する事業ですか？)

- ▶ 南相馬市

### 事業内容

- ▶ 自宅と区内中心地域などの決められた乗降場所との間のタクシー料金が定額になる登録制のサービス。

(原町区・鹿島区で実施しているものと同様の制度を小高区でも実施する)

| 利用料金(片道) | 乗車・降車ができる場所                                                                                                                                |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 600円     | <ul style="list-style-type: none"><li>・自宅</li><li>・小高区内の病院等(小高診療所、半谷医院、今村医院、今村歯科、門馬整形外科)</li><li>・小高区内の商業施設等(小高ストア、ローソン、セブンイレブン)</li></ul> |
| 2,000円   | <ul style="list-style-type: none"><li>・原町区内の病院(大町病院、小野田病院、市立総合病院、雲雀ヶ丘病院)</li></ul>                                                         |

**最終的なゴールの状態は？** (どのような状態になれば事業完了ですか？)

- ▶ 原町区・鹿島区と同様のみなタクを小高区で導入する。



## ▶ 事業名 おだかまちづくり会社の設立

志賀由紀夫 委員 提案

### グランドデザイン(全体構想)

- ▶ まち残し(自然・生活・なりわい) ▶ 小高郷騎馬会の継続(歴史・文化)
- ▶ 賑わいゾーン : まちなか ▶ のんびりゾーン : まちなか周辺(自然・歴史・史跡)

### コンセプト 協働と創造で未来につなぐ + 行政の補完

#### 協働

- ・地域資源を最大限活用、新たな資源を生み出す
- ・今ある動きを止めない、小さなモノ、コト、動きを多く集める

#### 創造

- ・地元住民と移住者、そして多世代交流で地域活力を生み選ばれるまちに
- ・毎年住民参加型ワークショップ開催でコンセプト更新

#### 行政補完

- ・行政と民間のスキマを埋める事業の発掘
- 行政・・・公平性・平等性重視、予算制約・手続複雑で迅速実行が困難
- 民間・・・地域ニーズに応じて柔軟・迅速・臨機応変な取組が可能

将来人口3,000人維持、3,000人でも「賑わいがあり」「商売成り立つ」まち



## ▶ 事業名 おだかまちづくり会社の設立

### ターゲット

- ▶ クライアントは自治体、事業者、小高区住民

### 必要な人材・組織(ヒト)

#### 【設立準備委員会】

- ・メンバー： 下記役員・事務局メンバーのほか、コンサル・有識者(福島大学 前川教授)・新聞社・住民公募

#### 【設立時組織】

- ・組織： 社団法人(もしくは株式会社)を組織化
- ・社員： 下記役員、区内事業所、住民有志
- ・役員： ① 理事10名以内

市役所(副市長もしくは小高区役所長)、商工会会長、農協、みらい農業学校、  
町内若手事業者(建設土木1社、商業サービス1社、ダイユー8)、  
騎馬会、行政区長、移住者など住民有志

- ② 監事2名以内 金融機関

Next ⇒



## ▶事業名 おだかまちづくり会社の設立

・事務局：事務局長・・・小高観光協会 会長 / 事務局次長・・・ /  
事業部制・・・ヨソモノ、ワカモノ、バカモノで構成

・連携先：OWB株式会社ほか

・税理士：顧問税理士

・人材募集：①正社員

市役所及び地元企業に対し出向者要請

住民への求人

地域おこし協力隊への求人

②パート職

草刈り部隊の求人

派遣対応者（職種ごとに名簿作成し依頼あれば派遣）





## ▶ 事業名 おだかまちづくり会社の設立

**事業内容** (モノ・コト・トキ = 瞬間を楽しむ・イミ = 生き甲斐やりがい)

▶ 施設管理運営事業とイベント企画管理事業の両輪とマネジメント

地域密着型の公益性と収益確保の企業性を併合し、果実を地域に還元する

### 【施設管理運営事業】

・小高商業高校跡地施設の指定管理事業(会社の核となるリーディング事業)

・老人福祉センターの指定管理事業(事務局を同センターに暫定設置)

・空き地、空き家の活用事業、小高交流センターやふれあい広場の活用事業

・景観美観維持＝草刈り

・空き家買取賃貸経営(小さな動きを支援)＝テナント誘致

・空き地に屋台村

・空き地に街なかコピスガーデン運営(四季折々の風景・植物を楽しむ)

・生活(生活)と交流(商業・イベント)と仕事(オフィス)機能を併せ持った、暮らしやすい環境整備

Next ⇒



## ▶事業名 おだかまちづくり会社の設立

### 【イベント企画管理運営事業(賑わい創出)】

- ・各種イベントの伴奏支援(野馬追・浮舟まつり・定期的なイベント開催...)
- ・情報発信(HP・You Tube配信・視察案内、語り部、ミニ資料館...)
- ・野馬追に絡めた事業開発
- ・特産物開発、地域ブランド開発(地域の物語を売る)
- ・「おてつたび」開設(旅行と手伝いとやりがいの組み合わせ)

### 【マネジメント】

- ・小高区自治振興基金の運営
- ・施設管理運営事業とイベント企画管理運営事業の総括
- ・各種受注対応
- ・派遣ビジネスの運営
- ・OWBで産んだ小さな動きを伴走支援



## ▶ 事業名 おだかまちづくり会社の設立

### 最終的なゴールの状態

- ▶ 当初のスローガン達成見込みが立ったとき
    - ・2,500人～3,000人でも賑わい創出が出来て商店経営が成り立つ町
    - ・相馬野馬追祭で、継続的に小高郷騎馬隊が50騎以上出陣できる町
  - ▶ 10年間継続し、組織継続か解散かを見極める
- 但し、出資金を使い果たした場合は、10年以内でも組織は解散する



# 令和7年度協議予定について

|   | 開催月                | 内容／予定                                 |
|---|--------------------|---------------------------------------|
| 1 | 4月合同会議<br>(4/17開催) | 事業内容の発表【本日実施】                         |
| 2 | 5月会議               | 事務局からの事業案についてのご説明                     |
| 3 | 6月～7月              | 視察研修                                  |
| 4 | 7月会議               | 勉強会                                   |
| 5 | 8月会議               | 意見書・事業案まとめのための最終協議                    |
| 6 | 9月                 | 意見書・事業案を市へ提出                          |
| 7 | 9月～10月             | 意見書・事業案をもとに令和8年度当初予算検討／小高区地域協議会へ事業案説明 |
| 8 | 1月                 | 小高区地域協議会へ諮問 ※小高区自治振興基金を使って事業を行う場合     |



# MEMO

